

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2012 年 10 週 (3 月 1 週 3/5 ~ 3/11)

2012 年 2 月報

愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail : eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先 : 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

トピックス

インフルエンザ、集団かぜの発生について、麻しん
病原体検出情報
定点医療機関コメント
溶血性レンサ球菌感染症、感染性胃腸炎、
インフルエンザ、マイコプラズマ、水痘 等

全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(31)、レジオネラ症(1)、急性脳炎(1)、劇症型
溶血性レンサ球菌感染症(2)、後天性免疫不全症候
群(1)、梅毒(2)、風しん(2)、麻しん(5)

2012 年 2 月報

定点把握感染症報告数 (保健所別、年齢別)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

インフルエンザ(図1)【2011 年 12 月 21 日警報発令】

10 週の定点当たり報告数は 9.3、9 週 2,280 人 10 週 1,804 人です。2011/2012 シーズンに、集団かぜ及び病原体定点から寄せられた検体より A 香港型(AH3)及び B 型(ビクトリア系統、山形系統) ウイルスが検出されました。

【参考ページ】

インフルエンザ警報を発令します! (ネットあいち)

<http://www.pref.aichi.jp/0000047521.html>

2011/12 シーズンインフルエンザウイルス分離・検出状況

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infibunri11_12.html

保健所別・定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数マップ

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/infllu_map_new.html

インフルエンザのホッ! と情報 (豊橋市公式ページ)

http://www.city.toyohashi.aichi.jp/bu_kenkou/kenkouseisa/ku/influenza_hot.html

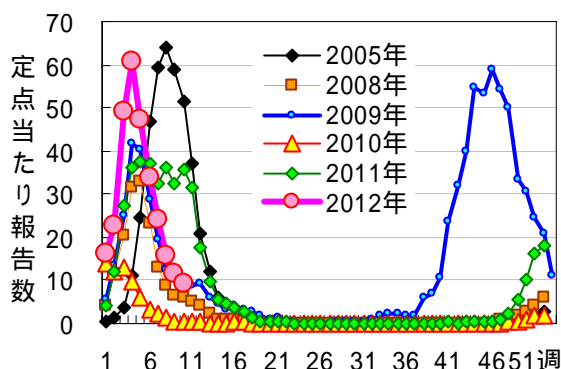


図1 インフルエンザ

集団かぜの発生について(健康対策課新型インフルエンザ対策室発表)

	発表日	管轄保健所	ネットあいち URL
第 61 報	3 月 8 日	春日井、知多、師勝、衣浦東部	http://www.pref.aichi.jp/0000049364.html
第 62 報	3 月 9 日	師勝	http://www.pref.aichi.jp/0000049418.html
第 63 報	3 月 12 日	瀬戸、豊川	http://www.pref.aichi.jp/0000049458.html
第 64 報	3 月 13 日	一宮、瀬戸、江南、衣浦東部	http://www.pref.aichi.jp/0000049483.html
第 65 報	3 月 14 日	春日井	http://www.pref.aichi.jp/0000049529.html

麻しん(図2)

2012 年は、3 月 14 日現在 25 件報告されており、予防接種歴別にみると接種歴無し 17 件、不明 6 件、有り 2 件です。麻しんの診断時には発生届と併せて、患者検体の提出をお願いいたします。

【参考ページ】

麻しん患者発生報告状況

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl_2012.html

<速報>渡航歴の無い小児および家族内感染者からの D8 型麻疹ウイルス検出 - 愛知県

<http://idsc.nih.gov/iasr/rapid/pr3853.html>

麻しんの臨時予防接種を実施します(豊田市)

http://www.city.toyota.aichi.jp/pressrelease/1237189_7011.html

麻しん・風しんの予防接種は 2 回受けましょう

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/hi_4.html

定期予防接種(麻しん、風しん)の対象の方は、早めに接種しましょう。今年度の第 2~4 期(接種 2 回目)

公費負担対象は、3 月 31 日を過ぎると自己負担になります。

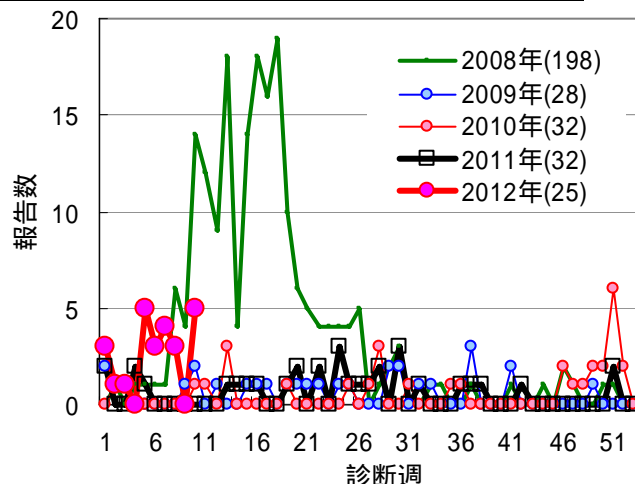


図2 愛知県麻しん報告数 (2008年1週 ~ 2012年10週、凡例の()内は年間報告数)

病原体検出情報 - 平成 23 年疾患別ウイルス検出速報 - 3 月 15 日現在

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルペス	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎・脳症	*インフルエンザ	**麻疹
患者数	257	146	42	14	42	57	22	358	11(48)
PV-1	2								
PV-2	3								
CV-A4			2				1		
CV-A6		33	9						
CV-A10		2							
CV-A16		33							
EV-71		3							
CV-B1		1	1			10			
CV-B2	2		3			2	1		
CV-B3			1				1		
CV-B4		1							
CV-B5	1	3				15			
E-6						1			
E-7	1		1						
E-11	3					2	1	1	
HPeV-3			2						
FluAH1pdm09								139	(1)
FluAH3								100	
FluB								75	
MeV									1(3)
MuV						1			
RUBV									(1)
Rota A G1	28								
Rota A G2	1								
Rota A G3	33								
NV-G	2								
NV-G	84								
SV	9								
AstV	9								
Ad-1	1		1						
Ad-2	7			2					
Ad-3	4		2	10	5				
Ad-5	1								
Ad-41	5								
Ad-53					1				
Ad-54					2				
HSV-1									(1)
B19V									(13)
検査中	4	1							
陰性	84	69	20	2	34	26	18	43	10(29)

*インフルエンザは 2010/2011 シーズンの検査結果

**麻疹の()内は病原体定点医療機関以外からの患者数(別掲)。

略：ウイルス名(他の略名) Ad：アデノウイルス、AstV：アストロウイルス、B19V：ヒトパルボウイルス B19、CV：コクサッキーウイルス(Cox.)、E：エコーウイルス、EV-71：エンテロウイルス 71 型、FluAH1pdm09：インフルエンザ(H1N1)2009 ウイルス、FluAH3：A 香港型インフルエンザウイルス、FluB：B 型インフルエンザウイルス、HPeV：ヒトパレコウイルス、HSV-1：単純ヘルペスウイルス 1 型、MeV：麻疹ウイルス、MuV：ムンプスウイルス、NV：ノロウイルス、PV：ポリオウイルス、Rota A：A 群ロタウイルス、RUBV：風疹ウイルス、SV：サボウイルス

関連ページ 1)「疾患別ウイルス検出情報」<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

2)「2010/11 シーズンインフルエンザウイルス分離・検出状況」

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri10_11.html

病原体検出情報 - 平成 24 年疾患別ウイルス検出速報 -								3 月 15 日現在	
	感染性腸炎	手足口病	ヘルペス	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎・脳症	*インフルエンザ	**麻疹
患者数	60			1	6	2	2	158	36(9)
FluA/H3								110	
FluB								7	
MeV									18(3)
RUBV									2
NV-G	13								
Ad-5				1					
B19V									(1)
検査中	45				5	2	1	30	16(5)
陰性	2				1		1	11	

*インフルエンザは 2011/2012 シーズンの検査結果

**麻疹の()内は病原体定点医療機関以外からの患者数(別掲)。

略：ウイルス名(他の略名) Ad：アデノウイルス、B19V：ヒトパルボウイルス B19、FluA/H3：A 香港型インフルエンザウイルス、FluB：B 型インフルエンザウイルス、MeV：麻疹ウイルス、NV：ノロウイルス、RUBV：風疹ウイルス

関連ページ 1)「疾患別ウイルス検出情報」<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>
2)「2011/12 シーズンインフルエンザウイルス分離・検出状況」
http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri11_12.html
3)「麻疹患者調査事業における麻疹患者発生報告状況」
http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl_2012.html
4)「麻疹ウイルス分離・検出速報」(国立感染症研究所感染症情報センター)
<http://idsc.nih.go.jp/iasr/measles.html>

定点医療機関コメント(名古屋市除く)

尾張西部地区

感染性腸炎増加
1歳の口タ陽性例あり
溶連菌感染症が目立ちました。
【一宮市 あさのこどもクリニック】
インフルエンザ A 型 3名
【一宮市 後藤小児科医院】
マイコプラズマ感染症 7名
【一宮市 ささい小児科】
インフルエンザ 29名 A 型15名 B 型14名
【一宮市 一宮市立市民病院】
インフルエンザ A 型1名 B 型3名
【一宮市 水野医院】
インフルエンザ A 型4名 B 型1名
【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】
インフルエンザの流行が小規模ながら遅延しています。
胃腸炎はカンピバクターを含め細菌性と非細菌性が混在しています。
【犬山市 武内医院】
インフルエンザ B 型増加しています 26名 (A 型6名、B 型20名)。
感染性胃腸炎の流行も続いています。
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
インフルエンザ A 型 26例
インフルエンザ B 型 33例と B 型優位
水痘、ムンプス続発中
ロタウイルス胃腸炎 5例
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
インフルエンザ A 型1件 B 型2件
【扶桑町 いずみ内科】
A 型インフルエンザ6名、B 型インフルエンザ12名です。週後半は、A 型インフルエンザみられませんでした。
【北名古屋市 田中クリニック】
23歳男 病原大腸菌(O1)検出
36歳男 病原大腸菌(O25)検出
9歳女 マイコプラズマ肺炎
2歳男 ロタウイルス胃腸炎
インフルエンザ27名 全て B 型です。
【清須市 丹羽医院】
インフルエンザ A 型23名、インフルエンザ B 型6名。
【津島市 医療法人参育会加藤医院】
インフルエンザはすべて B 型でした。
【愛西市 医療法人谷本医院】
5歳女 インフルエンザ B 型
【弥富市 医療法人すずきこどもクリニック】

尾張東部地区

インフルエンザ 2名(A1名、B1名)

溶連菌流行続いています。

嘔吐・下痢症状での受診が多くみられました。

その他、水痘、突発疹等

【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】

水痘が14名と流行中です。

【豊明市 こども元気クリニック】

インフルエンザ、RSウイルス感染症とも落ち着いています。

【春日井市 春日井市民病院】

インフルエンザ 少々。

感染性胃腸炎 続発中。

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

インフルエンザA型 25名 B型 12名、計37名。

【春日井市 医療法人聡彩会片山こどもクリニック】

インフルエンザ患者数は全体では減少傾向であるが、B型は増加し全体の6割です。

【小牧市 小牧市民病院】

インフルエンザはB型8例、A型5例です。

ロタウイルス胃腸炎が増加しました。

【小牧市 志水こどもクリニック】

インフルエンザまだ出ています。

【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】

インフルエンザB 3名

インフルエンザA 1名

【半田市 医療法人林医院】

B型インフルエンザ 3名

感染性胃腸炎多い

【南知多町 医療法人大岩医院】

インフルエンザA型 3名

インフルエンザB型 4名

10か月男 ロタウイルス(+)

胃腸炎が増えてきました。

【大府市 まえはらこどもクリニック】

インフルエンザ9名(A型2名 B型7名)

RSウイルス感染症 1名(1歳)

溶連菌感染症やや目立ちました。

【東海市 もしもしこどもクリニック】

西三河地区

イムノエースFlu A(+) 8名

StrepA(+) 4名

クリアビューEZストレップA(+) 2歳男

【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】

インフルエンザA 4人

インフルエンザB 2人

マイコプラズマ 15人

【豊田市 すくすくこどもクリニック】

インフルエンザ陽性 A型 3名 B型 2名

【豊田市 厚生連足助病院】

マイコプラズマ肺炎 13歳男、8歳男、4歳男

インフルエンザ A型17名 B型4名

【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】

マイコプラズマ肺炎 8歳男 2人、4歳女 1人

溶連菌が増えてきた。

【岡崎市 花田こどもクリニック】

インフルエンザ計3名 1名B型

【岡崎市 粟屋医院】

インフルエンザA型 2名

【岡崎市 医療法人永坂内科医院】

病原性大腸菌O18(+)VT(-) 4歳女 2名

病原性大腸菌O1(+)VT(-) 1歳女

インフルエンザA型 8名 H1N1(2009) 3歳女

マイコプラズマ 12歳男

【岡崎市 にいのみ小児科】

マイコプラズマ肺炎 6歳女

ロタウイルス 5歳女

インフルエンザA型4名 B型1名

【岡崎市 医療法人深田小児科】

インフルエンザA型2名 B型1名

【岡崎市 医療法人志貴こどもクリニック】

インフルエンザ感染症減少傾向(約20%はB型)。

RSV感染症散見されます。

【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】

感染性胃腸炎、溶連菌感染症 目立ちます。

【碧南市 永井小児科クリニック】

マイコプラズマ肺炎5歳女

【知立市 宮谷クリニック】

インフルエンザA型3名、B型4名

マイコプラズマ気管支炎 6名

感染性胃腸炎 3名 ロタ(+)

【刈谷市 田和小児科医院】

B型インフルエンザ 3歳女

インフルエンザ(型不明)13歳女

【西尾市 山岸クリニック】

東三河地区

A群溶連菌感染症、水痘が時々います。
 【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】
 インフルエンザA型 20名、B型 3名 計23名
 【豊橋市 医療法人羽柴クリニック】
 インフルエンザA型 1名、B型 3名
 【豊橋市 おだかの医院】

インフルエンザA型(+) 7名
 インフルエンザB型(+) 2名
 【豊川市 豊川市民病院】
 [2月分月報コメント]
 トリコモナス膣炎 23歳1名
 【豊川市 豊川市民病院】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2012年3月14日現在
ー ～ 三 類 感 染 症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki jun110905.pdf>

結核 （二類感染症）

報告保健所	2012年10週報告数			2012年累計(1～10週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	10		3	116	28	29
豊田市				10	1	6
豊橋市	5		4	17	2	8
岡崎市	1	1		8	4	1
一宮	2	2		20	6	4
瀬戸	3		1	21	2	7
半田				13	4	6
春日井				11	6	
豊川				9	4	3
津島				12	3	1
西尾	1			11	1	4
江南	4	1		17	2	6
新城	1	1		2	2	
知多	1		1	12	4	5
師勝	1		1	12	8	2
衣浦東部	2	1		18	6	4
合計	31	6	10	309	83	86

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）						
レジオネラ症（四類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域	
1	豊田市	73 歳	男	肺炎型	国内	
急性脳炎（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域	
1	豊田市	77 歳	男	病原体(インフルエンザウイルス A 型)	国内	
劇症型溶血性レンサ球菌感染症（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染地域		
1	名古屋市	25 歳	男	国内		
2	豊田市	38 歳	女	国内		
後天性免疫不全症候群（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	豊橋市	41 歳	男	AIDS	性的接触	国内
梅毒（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	津島	38 歳	女	早期顕症	性的接触	国内
2	西尾	71 歳	男	無症候	不明	不明
風しん（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域	
1	豊田市	39 歳	男	不明	国内	
2	岡崎市	38 歳	男	不明	国内	
麻しん（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域	
1	豊田市	21 歳	女	無	国内	
2	豊田市	7 歳	女	無	国内	
3	豊田市	5 歳	男	無	国内	
4	津島	45 歳	男	不明	国内	
5	知多	1 歳	女	無	国内	

2月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況〔()は無症状病原体保有者再掲。〕

2011～2012年に報告のあった 疾病名及び病型 ()内は全数把握対象疾病数		2012年2月			2012年 累計 <愛知県全体>	2011年 総計 <愛知県全体>
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体		
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (5)	結核	87 (20)	59 (14)	146 (34)	277 (77)	2,088 (557)
三類 (5)	コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
	細菌性赤痢	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	14 (0)
	腸管出血性大腸菌感染症	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	121 (33)
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
	パラチフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
四類 (42)	E型肝炎	0	0	0	0	2
	A型肝炎	1	0	1	2	4
	チクングニア熱	0	0	0	0	2
	つつが虫病	0	0	0	0	3
	デング熱	0	0	0	0	9
	日本紅斑熱	0	0	0	0	3
	ボツリヌス症	0	0	0	0	1
	マラリア	0	0	0	0	6
	レジオネラ症	1	0	1	3	41
五類 (16)	アメーバ赤痢	0	1	1	4	41
	ウイルス性肝炎	1	0	1	1	11
	内訳					
	B型	1	0	1	1	8
	その他	0	0	0	0	3
	急性脳炎	0	0	0	3	12
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	1	3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	2	3	4	14
	後天性免疫不全症候群	0	4	4	13	126
	内訳					
	無症候性キャリア	0	3	3	10	73
	AIDS	0	1	1	3	50
	その他	0	0	0	0	3
	ジアルジア症	0	0	0	0	4
	梅毒	5	1	6	8	44
	内訳					
	無症候	4	0	4	4	19
	早期顕症	1	1	2	4	21
	晩期顕症	0	0	0	0	4
	破傷風	1	0	1	2	7
	風しん	2	0	2	2	13
	麻しん	15	0	15	20	32
	総計	114	67	181	342	2605

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名	2012年2月			2012年 累計	2011年 総計
		愛知県 <名古屋を除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体	愛知県 全体
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	72	44	116	223	1,560
	性器ヘルペスウイルス感染症	43	18	61	122	632
	尖圭コンジローマ	23	12	35	61	344
	淋菌感染症	14	24	38	102	714
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	84	17	101	237	1,411
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	4	2	6	17	155
	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	1	9
	薬剤耐性アシネトバクター感染症*	0	0	0	0	1

*2011年2月からの報告対象疾病

感染症の類型及び定義(感染症法)

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (5疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。鳥インフルエンザ(H5N1)が平成20年5月12日の法改正により従前の四類感染症鳥インフルエンザから除かれ、二類感染症に追加された。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (42疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (42疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

2012年10週(2012年3月5日～2012年3月11日)

[illegible]

愛知県衛生研究所

[illegible]